第43回企画展

多胡碑記念館開館25周年記念

子三【このみ】

～災害復興を願った平安人～

知られざる「大国」の群馬

古代瓦「羊子三」
(高崎市指定重要文化財)
大地震の被害を受けた上野国分寺の復興のために作られた瓦。
瓦には製作を依頼した「子三」の名が刻まれている。

令和3年

10.28(木) －12.12(日)

入館無料

会　　場：多胡碑記念館（2階）企画展示室
開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休 館 日：月曜日

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、変更・中止となる場合があります。

後援：朝日新聞社前橋総局・NHK前橋放送局・株式会社 エフエム群馬・群馬テレビ・産経新聞社前橋支局・上毛新聞社・東京新聞前橋支局・日本経済新聞社前橋支局・毎日新聞前橋支局・読売新聞前橋支局・ラジオ高崎

関連事業：「展示解説会」
日　　時：11月21日（日）・12月4日（土）
各日 ① 午前10時～午前10時30分、② 午後2時～午後2時30分
定　　員：各回先着10人　参加費無料
申し込み：10月21日（木）から希望回の前日までに、開館時間内に電話で申し込み

多胡碑記念館
〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池1085番地
TEL.027(387)4928　FAX.027(387)8726
Email：tagohi@city.takasaki.gunma.jp

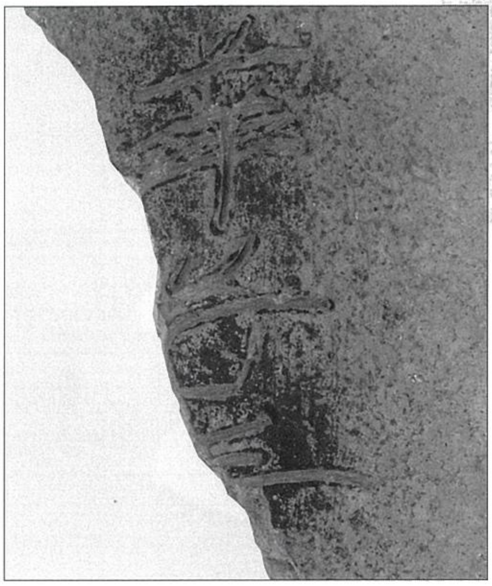
第43回企画展
多胡碑記念館開館25周年記念

子三【このみ】

～災害復興を願った平安人～

古代瓦「羊子三」は、平安時代の９世紀に大地震の被害を受けた上野国分寺の復興のために作られたものです。瓦には製作を依頼した「羊子三」という人物名が刻まれています。この人物は、多胡碑にみえる羊の関係者である「子三」と考えられています。また、近年では「辛子三」と釈読され、上野国多胡郡辛科郷に住んでいた「子三」と解釈されています。

本展では古代瓦「羊子三」を展示するとともに、関連する長根遺跡群の考古資料も紹介します。そして、大地震後の復興に尽力した子三の歴史的役割を考え、全国有数の大国となっていた９世紀の群馬県地域の重要性にも迫ります。



古代瓦「羊子三」（塔ノ峯遺跡）
多胡碑記念館蔵
－高崎市指定重要文化財－

刻書石製品（上高原遺跡）
高崎市教育委員会蔵
－多くの文字が刻まれた謎の多い資料－

鉄製焼印「子」（神保境遺跡）
高崎市教育委員会蔵
－県内でも珍しい古代の焼印－

文字瓦「子」（上野場遺跡）
高崎市教育委員会蔵
－「子」と刻まれた大型建物用の瓦－

灰釉陶器小瓶（南高原遺跡）
高崎市教育委員会蔵
－東海地方からもたらされた高級陶器－

同時開催
上野三碑 ユネスコ「世界の記憶」登録４周年記念

上野三碑かるた原画展

会期：令和３年10月28日(木)～11月28日(日)
会場：多胡碑記念館（２階）拓本のへや

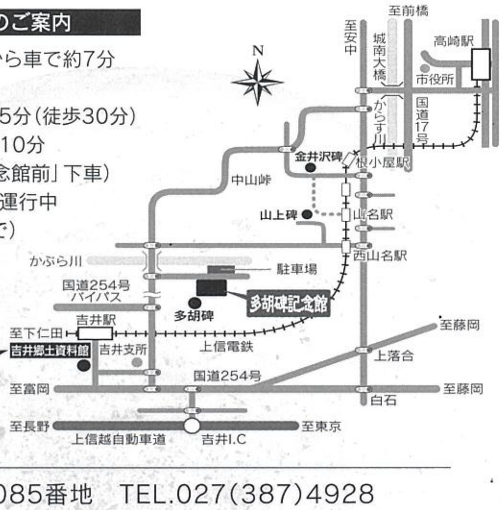
主 催：上野三碑普及推進会議・多胡碑記念館　協 力：群馬県
かるたの絵札原画44枚などのほか、天平衣装も展示します

※新型コロナウィルス感染症拡大防止に関する対策について
(1)企画展示や、展示解説を中止・変更する場合があります。
(2)観覧状況により、入館者の人数制限をする場合があります。
(3)入館の条件：①マスク着用、②手指消毒、③検温、④距離を保っての見学をお願いします。

多胡碑記念館　交通のご案内

- 上信越自動車道　吉井ICから車で約7分
- JR高崎駅から車で約15分
- 上信電鉄吉井駅から車で約5分（徒歩30分）
  吉井駅からよしいバスで約10分
  （東谷・西吉井線「多胡碑記念館前」下車）
- ■ 上野三碑めぐりバス　無料運行中
  （詳しくは上信ハイヤーまで）

吉井郷土資料館
企画展のお知らせ
吉井信照の生涯
R3.10.30(土)から12.12(日)
TEL 027-387-5235



多胡碑記念館
〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池1085番地　TEL.027(387)4928
E-mail:tagohi@city.takasaki.gunma.jp　FAX.027(387)8726